第７回
トランスジェニック生物ワークショップ

開催日時：平成 21 年 9 月 28 日（月）10:00 - 15:00

9 月 29 日（火）10:00 - 15:00

会　場　：自然科学研究支援開発センター

（遺伝子実験施設・１階セミナー室）

講　師　：光永ー中坪　敬子　（理学研究科）

テーマ：メダカ受精卵へのマイクロインジェクション法

要　旨　：近年、初期胚における遺伝子の機能を解明するために、アンチセンス・モルフォリノオリゴヌクレオチド（anti-MO）を用いた研究が盛んに行われている。本法の特徴は、目的の遺伝子をノックアウト（破壊）する方法が確立していない多くの動物に応用できることである。実験の手順は、目的遺伝子の DNA 配列あるいは cDNA 配列の情報をもとに anti-MO を発注し、受精卵にマイクロインジェクションして発生の異常を調べるだけである。本ワークショップでは、実際にメダカ受精卵を使って *fgf8* 遺伝子をノックダウンするための anti-MO の設計法を解説し、メダカ受精卵の採取とインジェクションを体験していただきます。マイクロインジェクション装置のセットアップ、マイクロピペットの作製法、必要な試薬・器具類など貴重な情報を提供します。

これから動物胚で遺伝子機能を調べてみたい方は、奮ってご参加ください。

募集人員：　５名

申込み先：　山下一郎（自然科学研究支援開発センター）内線 6271